

目 次

1 総 論

1.1 配電の推移とその特異性	13
1.1.1 配電の推移	13
1.1.2 配電の特異性	16
1.2 電気の質と配電	16
1.3 配電の現状	17
演習問題	17

2 配電方式

2.1 配電電圧	19
2.1.1 配電系統の標準電圧	19
2.1.2 配電電圧の区分	20
2.1.3 1次系と2次系	20
2.2 配電方式	21
2.2.1 単相交流方式	21
2.2.2 3相交流方式	21
2.2.3 内外における配電方式と配電電圧	22
2.2.4 各種配電方式別の所要電線量の比較	25
2.3 配電系統の構成	25
2.3.1 フィーダ、幹線および分岐線	25
2.3.2 樹枝状方式	25
2.3.3 環状方式	26
2.3.4 バンキング方式	27
2.3.5 1次ネットワーク方式	28

2・3・6 2次ネットワーク方式	28
2・4 需要家供給方式	29
演習問題	29

3 配電線の線路定数と回路解析

3・1 抵抗	31
3・2 インダクタンス	32
3・2・1 1本の導体の磁束鎖交数	32
3・2・2 線路のインダクタンス	33
3・2・3 大地を含むインダクタンス	34
3・3 大地帰路インピーダンス	39
3・3・1 相当大地面から求める大地帰路インピーダンス	39
3・3・2 カーソン・ポラチェックの式による場合	40
3・3・3 計算結果	41
3・4 静電容量と漏れ抵抗	42
3・4・1 不平衡電線配置の場合	42
3・4・2 幾何学的平均距離を使用した場合	44
3・4・3 作用静電容量	44
3・4・4 実系統の静電容量	44
3・4・5 漏れ抵抗	45
3・5 回路網理論	45
3・5・1 人-△と△-人	45
3・5・2 重ねの定理	45
3・5・3 テブナンの定理	45
3・5・4 定電圧源と定電流源	46
3・5・5 ノートンの定理	46
3・5・6 並列発電機の定理	46
3・5・7 ミルマンの定理	47

3.5.8 相反の定理.....	47
3.5.9 置換の定理.....	47
3.5.10 補償の定理.....	47
3.5.11 4端子回路網.....	47
3.6 直接法による解析	48
3.7 対称座標法による解析	48
3.7.1 対称座標法.....	48
3.7.2 3相3線式回路の解析	51
3.7.3 入結線3相4線式回路の解析	53
3.8 クラーク座標法による解析	59
3.8.1 クラーク座標法.....	59
3.8.2 3相3線式回路の解析	62
3.9 2相回路理論による解析	63
3.9.1 2相回路理論.....	63
3.9.2 単相3線式回路の解析	66
3.10 V結線3相4線式回路の解析.....	67
3.10.1 回路解析の基本式	67
演習問題.....	72

4 定常時の電気的特性

4.1 配電線の基本形	73
4.1.1 配電特性に関する係数	73
4.1.2 給電点が1点の場合	75
4.1.3 給電点が2点以上ある場合	81
4.1.4 環状バンキング系の電流分布計算	84
4.2 1次系の計算	88
4.2.1 3相3線式非接地系の計算	88
4.2.2 入結線3相4線式系の計算	90

4.2.3 3相3線式ループ配電系の計算	91
4.3 2次系の計算	93
4.3.1 単相3線式系の計算	93
4.3.2 V結線3相4線式灯動共用方式系の計算	97
演習問題	104

5 故障計算と故障保護継電方式

5.1 配電系統の供給支障事故	105
5.1.1 供給支障事故の実態	105
5.1.2 故障点抵抗の実態	106
5.2 故障計算の解析法	108
5.2.1 直接法	108
5.2.2 3相3線式系の座称座標法による解法	108
5.2.3 Y結線3相4線式系の対称座標法による解法	109
5.2.4 3相3線式系のクラーク座標法による解法	109
5.2.5 単相3線式系の2相回路理論による解法	115
5.2.6 V結線3相4線式系のクラーク座標法による解法	115
5.2.7 3相短絡電流の計算法	115
5.3 1次系の故障保護	119
5.3.1 放射状△結線非接地系の故障保護	119
5.3.2 放射状高インピーダンス接地系の故障保護	122
5.3.3 放射状入結線3相4線式系の故障保護	125
5.3.4 放射状配電線故障区間自動検出方式	132
5.3.5 ループ方式の故障保護	133
5.3.6 柱上変圧器の故障保護	137
5.4 2次系の故障保護	139
5.4.1 放射状単相3線方式の故障保護	139

5・4・2 V結線3相4線式系の故障保護	142
5・4・3 バンキング方式の故障保護	142
5・4・4 ネットワーク方式の故障保護	151
演習問題	154

6 配電系統の管理と運用

6・1 負荷の特性	155
6・1・1 負荷曲線	155
6・1・2 各種需要諸係数	158
6・2 配電線路の電圧調整	166
6・2・1 サービスレベルと電圧調整	166
6・2・2 電圧調整の考え方	168
6・2・3 図式的電圧降下配分法	169
6・2・4 自動電圧調整	170
6・2・5 電圧調整の実系統への応用	174
6・3 電力損失軽減と力率改善	176
6・3・1 線路抵抗損失	176
6・3・2 線路抵抗損失と電圧降下との関係	177
6・3・3 電力損失の測定	178
6・3・4 負荷不平衡による損失増加	181
6・3・5 柱上変圧器の損失	184
6・3・6 力率改善	186
6・3・7 電力損失軽減	192
6・4 誘導障害	194
6・4・1 静電誘導	195
6・4・2 電磁誘導	197
6・4・3 共通中性線多重接地系の電磁誘導	200
6・5 電圧動搖	201

6.6 自動制御	207
6.6.1 自動制御の目的	207
6.6.2 各種自動制御方式	208
6.7 保安対策	211
6.7.1 低圧線の感電事故	211
6.7.2 諸外国における保安対策	213
6.7.3 わが国の保安対策	215
演習問題	219

7 配電計画

7.1 配電系統計画の考え方	221
7.2 負荷分布の調査	222
7.3 変圧器の負荷管理	223
7.3.1 負荷設備による方法	223
7.3.2 負荷測定による方法	223
7.3.3 kWh による方法	224
7.3.4 過負荷表示器による方法	224
7.3.5 その他の方法	224
7.4 配電計画と経済的検討	225
7.4.1 経済的考え方	225
7.4.2 サービスレベル	226
7.4.3 變電所の設計	227
7.4.4 1次系の設計	229
7.4.5 2次系の設計	232
演習問題	238

8 架空電線路

8.1 支持物	239
---------------	-----

8.1.1 支持物の種類	239
8.1.2 装柱材料	241
8.1.3 装柱	242
8.1.4 支線, その他	243
8.1.5 建柱	244
8.1.6 支持物の強度	245
8.2 架線材料	247
8.2.1 電線の種類	247
8.2.2 架線および接続材料	248
8.2.3 機械的強度	249
8.3 柱上変圧器	250
8.3.1 卷鉄心変圧器	251
8.3.2 CSP変圧器	251
8.3.3 CSPB変圧器	252
8.3.4 美化装柱用柱上変圧器	252
8.3.5 65°C変圧器	252
8.4 開閉器	253
8.4.1 柱上油入開閉器	253
8.4.2 自動式柱上油入開閉器	253
8.4.3 故障区間検出用区分開閉器	254
8.4.4 柱上気中開閉器	254
8.4.5 柱上真空開閉器	254
8.4.6 高圧カットアウト	254
8.5 避雷器	255
8.5.1 雷害の実態	255
8.5.2 誘導雷と耐雷設計	255
8.5.3 配電用避雷器の種類と規格	256
8.5.4 避雷器の施設基準	258

目 次	11
9.5.2 事故点の探索方法	273
演 習 問 題	275

10 屋内配線方式

10.1 屋内配線の回路方式	277
10.1.1 電 気 方 式	277
10.2 屋内配線施設と電線およびケーブル	279
10.2.1 施設場所と配線方法の種類	279
10.2.2 電 線 の 種 類	279
10.3 屋内配線用機器と工事材料	281
10.3.1 機 器	281
10.3.2 配線工事材料	283
10.4 屋内配線の保護	284
10.4.1 屋内配線の事故	284
10.4.2 屋内配線の保護	284
10.5 ビル・工場の電気施設と配電	286
演 習 問 題	287

11 配電の近代化と問題点

11.1 需要増の想定と配電の特異性	289
11.1.1 需 要 增 加 率	289
11.1.2 サービスレベルについての考え方	290
11.1.3 配電の特異性	290
11.2 配電の近代化とその問題点	290
11.2.1 都心部過密地域	290
11.2.2 都市部過密地域	291
参 考 文 献	293
索 引	297

9.5.2 事故点の探索方法.....	273
演習問題	275

10 屋内配線方式

10.1 屋内配線の回路方式.....	277
10.1.1 電気方式	277
10.2 屋内配線施設と電線およびケーブル.....	279
10.2.1 施設場所と配線方法の種類	279
10.2.2 電線の種類	279
10.3 屋内配線用機器と工事材料.....	281
10.3.1 機器	281
10.3.2 配線工事材料	283
10.4 屋内配線の保護.....	284
10.4.1 屋内配線の事故	284
10.4.2 屋内配線の保護	284
10.5 ビル・工場の電気施設と配電.....	286
演習問題.....	287

11 配電の近代化と問題点

11.1 需要増の想定と配電の特異性.....	289
11.1.1 需要増加率	289
11.1.2 サービスレベルについての考え方	290
11.1.3 配電の特異性	290
11.2 配電の近代化とその問題点.....	290
11.2.1 都心部過密地域	290
11.2.2 都市部過密地域	291
参考文献	293
索引	297